

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公表番号】特表2004-502653(P2004-502653A)
 【公表日】平成16年1月29日(2004.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報2004-004
 【出願番号】特願2002-503320(P2002-503320)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)
 A 6 1 K 39/39 (2006.01)
 A 6 1 P 31/10 (2006.01)
 G 0 1 N 33/15 (2006.01)
 G 0 1 N 33/50 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 K
 A 6 1 K 39/39
 A 6 1 P 31/10
 G 0 1 N 33/15 Z
 G 0 1 N 33/50 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成20年6月19日(2008.6.19)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 経口投与に適した組成物であって、粘膜表面でのカンジダ アルピカンスのコロニー形成および/または感染により引き起こされる状態の予防または治療処置のための、不活化されたカンジダアルピカンスを含む組成物。

【請求項2】 経口投与に適した組成物であって、カンジダアルピカンスコロニー形成および/または感染により引き起こされる状態の予防または治療処置のための、カンジダアルピカンスの出芽球菌形態を含む組成物。

【請求項3】 前記状態が、カンジダアルピカンスによる口内、鼻咽頭、又は呼吸器管コロニー形成又は感染から選ばれる、請求項1による組成物。

【請求項4】 ワクチン形態である、請求項3の組成物。

【請求項5】 カンジダアルピカンス全体を含む、請求項4の組成物。

【請求項6】 不活化カンジダアルピカンスを含む、請求項5の組成物。

【請求項7】 薬剤学的に許容できる溶剤、添加剤、アジュバント、または担体をさらに含む、請求項6の組成物。

【請求項8】 前記アジュバントは、Th1応答を誘導するために選択される、請求項7による組成物。

【請求項9】 カンジダアルピカンスコロニー形成および/または感染により引き起こされる状態の予防または治療処置のための、請求項1に記載の組成物を含む医薬であって、該組成物がそのような治療を必要とする対象者に投与される、医薬。

【請求項10】 前記状態は粘膜炎である、請求項9に記載の医薬。

【請求項11】 前記状態は、再発性/持続性の口内炎、再発性の外陰部腔カンジダ症、食道炎、および、下部尿路または腸管コロニー形成からなる群より選択される、請求項

9 に記載の医薬。

【請求項 1 2】 さらにアジュバントを含む、請求項 9 ~ 1 1 のいずれか一項に記載の医薬であって、該アジュバントが対象者に投与される、医薬。

【請求項 1 3】 前記アジュバントは、T h 1 応答を誘導するように選択される、請求項 1 2 に記載の医薬。

【請求項 1 4】 ワクチンとしてまたはワクチン成分として効果的なカンジダ分離株および/またはカンジダ抗原を同定する方法であって、マウスモデルにおける I F N - 、NO、I L - 1 2 および/または I L - 4 の測定を含む方法。

【請求項 1 5】 前記測定が唾液試料へなされる、請求項 1 4 による方法。

【請求項 1 6】 前記測定が血液試料へなされる、請求項 1 4 による方法。

【請求項 1 7】 前記測定が組織試料へなされる、請求項 1 4 による方法。

【請求項 1 8】 前記組織試料はリンパ組織から得られたものである、請求項 1 7 による方法。

【請求項 1 9】 I F N - 、NO、I L - 1 2 および/または I L - 4 の測定は、I F N - 、NO、I L - 1 2 および/または I L - 4 を発現する細胞の割合を決定することからなる、請求項 1 4 ~ 1 8 のいずれか一項による方法。